

# 複合化\*・多機能化\*

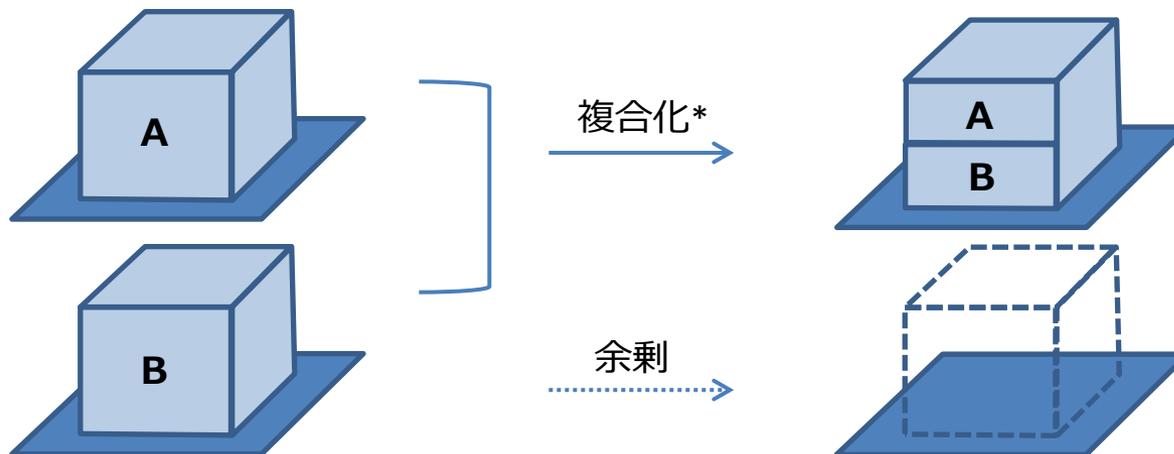
- 複合化\*・多機能化\*の検討は、学校教育との親和性および教育効果の観点から行う
- 地域子ども館\*(小学校のみ)、防災倉庫は、全ての学校に設置する【複合化\*】
- 屋内運動場\*、多目的室、家庭科室(調理室)等、災害時の使用が想定される施設は、開放を前提とした配置とする【多機能化\*】
- 複合化\*・多機能化\*は、学校施設本来の目的を踏まえたうえで、学校と管理運営を完全に分離し、学校(長)への負担がかからないことを前提とする

## 検討の視点

- ① 機能面 学校施設本来の目的を損なわず、かつ学校教育との親和性、教育効果があるか否か
- ② 物理面 必要な学校規模に対する校地、または床面積の余裕
- ③ 地域性 近隣公共施設の状況。学校の改築年次に合わせ決定する

●複合化\*とは

ハード面の観点から、一つの土地・建物に複数の施設を集合させること



●多機能化\*とは

ソフト面の観点から、一つの施設に複数の機能を持たせること

